

平成17年度事業報告 1/2P

	事業名	時期	概要
1	理美容商品等の市場調査(調査委員会)	平成11年1月1日～(継続事業)	会員会社の出荷ベースによるマーケットシェアの分析を継続実施した。
2	男性ユーザーの美容・理容の利用NET調査(調査委員会)	平成17年5月	男性ユーザーの美容・理容の利用店舗評価、店舗選択行動、ヘアスタイル意識等の調査を行った。 対象者:15～55歳までの男性で、最近1年間で3回以上理容室又は美容室を利用している者で、IMIネットアンケートモニター会員 調査方法:インターネット調査 調査範囲:全国 調査スケジュール:平成17年5月20日(金)～25日(水) 発信数:36,500 報告書:サロンユーザー調査2005年(25ページより)
3	サロンユーザー意識NET調査(調査委員会)	平成17年10月	サロンユーザーの現利用サロン評価、サロン選択行動、普段のヘアスタイル意識等の調査を行った。 対象者:15～59歳までの女性で、最近1年間で3回以上サロンを利用している者 調査方法:インターネット調査調査範囲:全国 調査スケジュール:平成17年10月7日(金)～12日(水) 発信数:31,500 報告書:サロンユーザー調査2005年 9ページから24ページ
4	サロンユーザーグループインタビュー調査(調査委員会)	平成17年7月	サロンユーザーの定性的な掘り下げを行い、定量調査、質問項目の見直し、追加を行うためのインタビュー調査を行った。 対象者: ①団塊世代の女性(55～59歳) 6名 ②団塊ジュニア世代の女性(28～35歳) 6名 調査方法:グループインタビュー 調査スケジュール:平成17年7月14日(木) 調査会場:赤坂リマーク 報告書:サロンユーザー調査2005年 3ページから8ページ]
5	第4回NBAカレッジの開催(アカデミー委員会)	平成17年11月24・25日	NBA会員会社の社員等に対し、東京及び京都において理美容業界の活性化及び資質向上を図るため、高いレベルの研修会を開催した。 テーマは、「異業種に学ぶ営業のあり方」とし、東京と京都の講師は別とした。 (1)東京会場 ①日時:平成17年11月24日(木)13:00～19:00 ②場所:株式会社アリミノ本社B1ホール ③講演題目および講師 第1部「人に好かれる営業の仕方」 株式会社ベリエ 代表取締役社長 和田 裕美氏 第2部「サービスはハートじゃないよう、ハートだよ。」 レストラン「カシータ」オーナー 高橋 滋氏 ④参加者数:192名(名刺提出者のみ) (2)京都会場 ①日時:平成17年11月25日(金)14:00～19:00 ②場所:京都リサーチパークB1バズホール ③講演題目および講師 第1部「美意識について」 建築家・東大名誉教授 安藤 忠雄氏 第2部 「焼酎ブームの火付け役 百年の孤独」 株式会社黒木商店一タ」代表取締役 黒木 敏之氏
6	サロン環境研究(環境委員会)	平成17年4月～平成18年3月	環境問題専門家による勉強会を開催し、環境問題を多面的な検討を行った。 第1回(平成17年5月25日) テーマ:「化学物質使用のリスクとビジネス」 講師:みずほ情報総研(株) 環境リスク室長 永田 裕子氏 第2回(平成17年7月14日) テーマ:「化学物質に関するリスクコミュニケーション」 講師:(株)環境情報コミュニケーションズ 代表取締役 大歳 幸夫 第3回(平成17年7月9日14日) ①テーマ:「化学物質規制の国際動向」 講師:(株)日立製作所 PLMソリューションセンター 主管 市川 芳明氏 ②テーマ:「化粧品規制の国際動向」 講師:花王(株) 品質保証本部 渉外担当マネージャー 笠井 裕氏 第4回(平成17年10月18日) テーマ:「今知っておきたいLOHASマーケット基礎知識」 講師:(株)インフォーバン 経営企画室長 池田 誠也氏 (株)インフォーバン マイローハス編集長 菅野 和子氏 第5回(平成18年1月25日) テーマ:「リスクコミュニケーションの実践に向けて」 講師:独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター 藤原 亜矢子氏

総会関連行事として、次の行事を開催した。

- (1) NBAの活動報告会を実施した。
- (2) ジャーナル会見を実施した。

●年2月に完成しました。

本システムは、株式会社日立製作所によるASPサービスとして提供され、事業化が決定し、平成18年5月よりスタートします。

このシステムは、NBA会員会社以外のメーカーにも利用が可能であり、インターネットを利用した受注システムが開発コストや運用コストを押さえて、すぐに立ち上げが可能となります。本システムは、来年度中に、サロンと代理店間の受発注のシステムもサービスに加え、業界全体の標準WEB-EDIに進化させます。

理美容業界内の物流システム全般を考察し、広く流通システム全体の学びを深め、業界での方向性に何らかの判断情報を提供できるようにするために、委員会委員に対し、JANについて基礎講座、JANを利用した倉庫管理システムについて勉強会を実施した。

テーマ：「企業コンプライアンスとしての情報セキュリティ」

「情報化社会における日本社会の現状と脅威」

「企業に与えるイメージ」

「具体的な情報セキュリティ対策」